

### Ⅲ がん死亡数及び死亡率

#### 1. 主要部位別死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率

表5に、岡山県の2003年のがん死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率（標準人口は1985年日本人モデル人口）、死亡割合を男女別、主要部位別に示した。

がん死亡数については、人口動態統計の数値（外国人を含まない）を使用した。

死亡割合についてみると、男では、肺21.9%、胃15.9%、肝臓14.4%が上位3位を占め、女では胃13.3%、肺11.4%、結腸10.1%が上位3位を占めた。結腸と直腸を合わせて大腸とすると、大腸が男では10.2%で4位、女では12.6%で2位となる。

表5. 死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率および死亡割合：主要部位別、性別 2003年

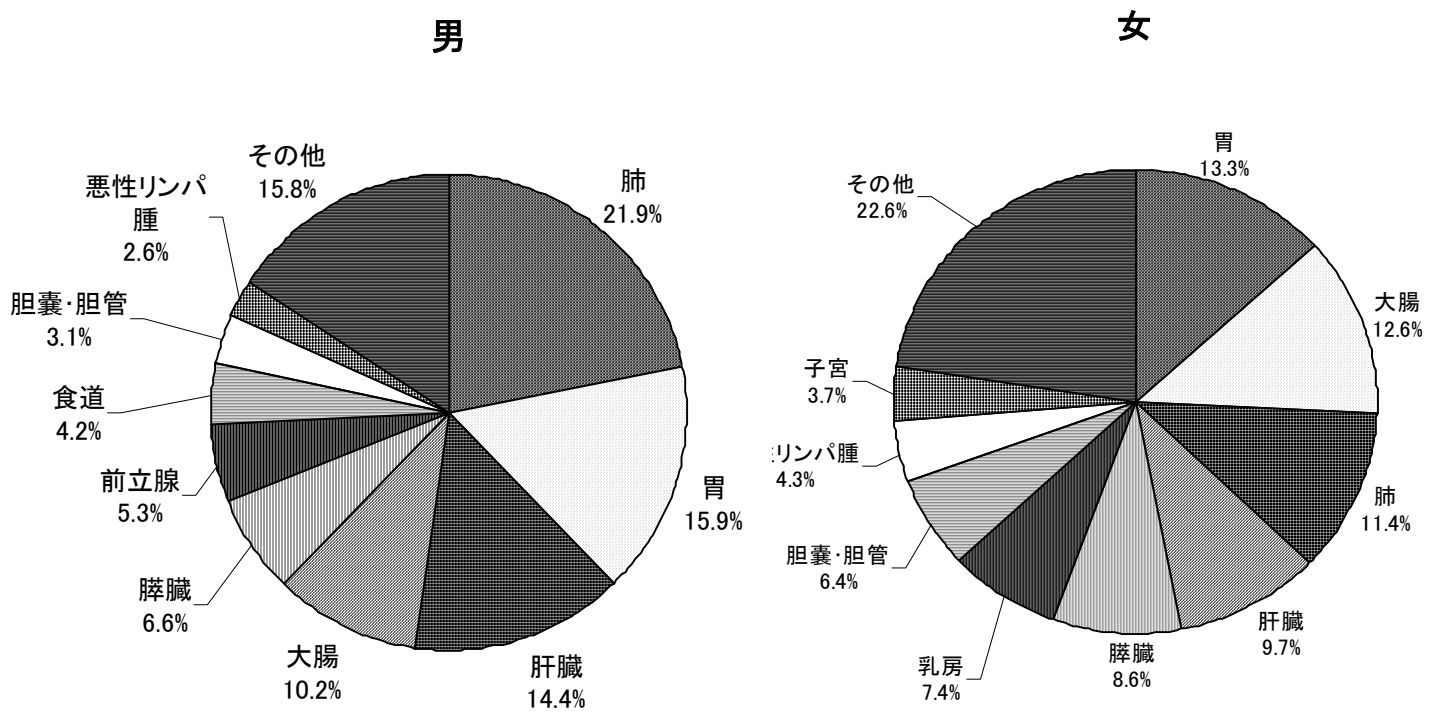
部位	死亡数		粗死亡率		年齢調整死亡率				死亡割合	
					日本人人口		世界人口			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	3,185	2,081	340.6	204.8	199.3	90.4	136.1	63.8	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	57	20	6.1	2.0	3.8	0.8	2.6	0.6	1.8%	1.0%
食道	134	23	14.3	2.3	8.8	0.9	6.2	0.6	4.2%	1.1%
胃	506	277	54.1	27.3	31.7	11.9	21.9	8.6	15.9%	13.3%
結腸	204	210	21.8	20.7	13.1	8.7	9.0	6.2	6.4%	10.1%
直腸	120	53	12.8	5.2	7.7	2.1	5.3	1.5	3.8%	2.5%
肝臓	460	201	49.2	19.8	29.6	7.7	20.2	5.0	14.4%	9.7%
胆嚢・胆管	99	133	10.6	13.1	5.8	4.8	3.8	3.2	3.1%	6.4%
膵臓	209	180	22.4	17.7	13.7	7.6	9.8	5.2	6.6%	8.6%
喉頭	14	3	1.5	0.3	0.8	0.1	0.5	0.0	0.4%	0.1%
肺	696	237	74.4	23.3	42.1	8.9	27.6	6.0	21.9%	11.4%
皮膚 <sup>(*)</sup>	12	19	1.3	1.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4%	0.9%
乳房	4	154	0.4	15.2	0.2	10.6	0.2	8.0	0.0%	7.4%
子宮	-	77	-	7.6	-	4.0	-	2.9	-	3.7%
卵巣	-	76	-	7.5	-	4.1	-	3.0	-	3.7%
前立腺	170	-	18.2	-	9.2	-	5.9	-	5.3%	-
腎など	68	43	7.3	4.2	4.2	1.5	3.0	1.0	2.1%	2.1%
膀胱	61	38	6.5	3.7	3.4	1.2	2.1	0.9	1.9%	1.8%
脳・神経系	46	36	4.9	3.5	3.6	2.1	3.0	1.7	1.4%	1.7%
甲状腺	11	22	1.2	2.2	0.7	0.8	0.4	0.5	0.3%	1.1%
悪性リンパ腫	84	90	9.0	8.9	5.4	4.1	3.8	2.9	2.6%	4.3%
多発性骨髄腫	34	37	3.6	3.6	2.1	1.4	1.3	0.8	1.1%	1.8%
白血病	68	42	7.3	4.1	4.7	2.2	3.6	1.7	2.1%	2.0%

日本人人口：1985年日本人モデル人口。 世界人口：Dollの「世界人口」。

皮膚<sup>(\*)</sup>：皮膚の黒色腫を含む

図 12 に、上位 9 位の部位別死亡割合を男女別にグラフで示した。(結腸と直腸を合わせて大腸とした)

図 12 死亡数による部位別割合 (%) : 主要部位別、性別



## 2. 罹患と死亡の比較

表6に罹患と死亡（人口動態統計による）について、数、粗率、年齢調整率を男女計について対比するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/D比）及び死亡数の罹患数に対する比（D/I比）を示した。なお、外国人については、罹患数集計では除外していないが、死亡数は外国人を除外した数値である。

届出の量的精度を示す第二の指標である全部位のI/D比は、1.93となった。部位別のI/D比は、生存率の相対的な大小を示唆するものであるが、前立腺5.41、乳房4.81、子宮4.22が4.00以上と高かった。

表6. 罹患数及び死亡数、粗率、年齢調整率(人口10万対)及び罹患数と死亡数の比: 主要部位別、男女計 2003年

	数		粗率		年齢調整率(*1)		罹患数 /死亡数	死亡数 /罹患数
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡		
全部位	10,183	4,778	522.0	244.9	307.1	131.8	2.13	0.47
口腔・咽頭	148	99	7.6	5.1	4.5	2.8	1.49	0.67
食道	198	149	10.1	7.6	5.9	4.4	1.33	0.75
胃	1,697	793	87.0	40.6	50.1	21.5	2.14	0.47
結腸	1,014	361	52.0	18.5	29.7	9.1	2.81	0.36
直腸	533	197	27.3	10.1	16.6	5.6	2.71	0.37
肝臓	736	579	37.7	29.7	20.7	16.6	1.27	0.79
胆嚢・胆管	260	253	13.3	13.0	6.2	6.3	1.03	0.97
膵臓	357	312	18.3	16.0	9.5	8.4	1.14	0.87
喉頭	56	17	2.9	0.9	1.7	0.4	3.29	0.30
肺	1,311	878	67.2	45.0	35.6	23.4	1.49	0.67
皮膚(*3)	119	12	6.1	0.6	3.0	0.3	9.92	0.10
乳房	760	138	39.0	7.1	30.4	5.1	5.51	0.18
子宮	325	80	16.7	4.1	14.0	2.4	4.06	0.25
卵巣	139	75	7.1	3.8	5.5	2.5	1.85	0.54
前立腺	919	133	47.1	6.8	23.8	2.8	6.91	0.14
膀胱	354	93	18.1	4.8	9.7	2.1	3.81	0.26
脳・神経系	69	26	3.5	1.3	2.6	1.1	2.65	0.38
悪性リンパ腫	287	131	14.7	6.7	8.9	3.8	2.19	0.46
白血病	127	105	6.5	5.4	4.6	3.6	1.21	0.83

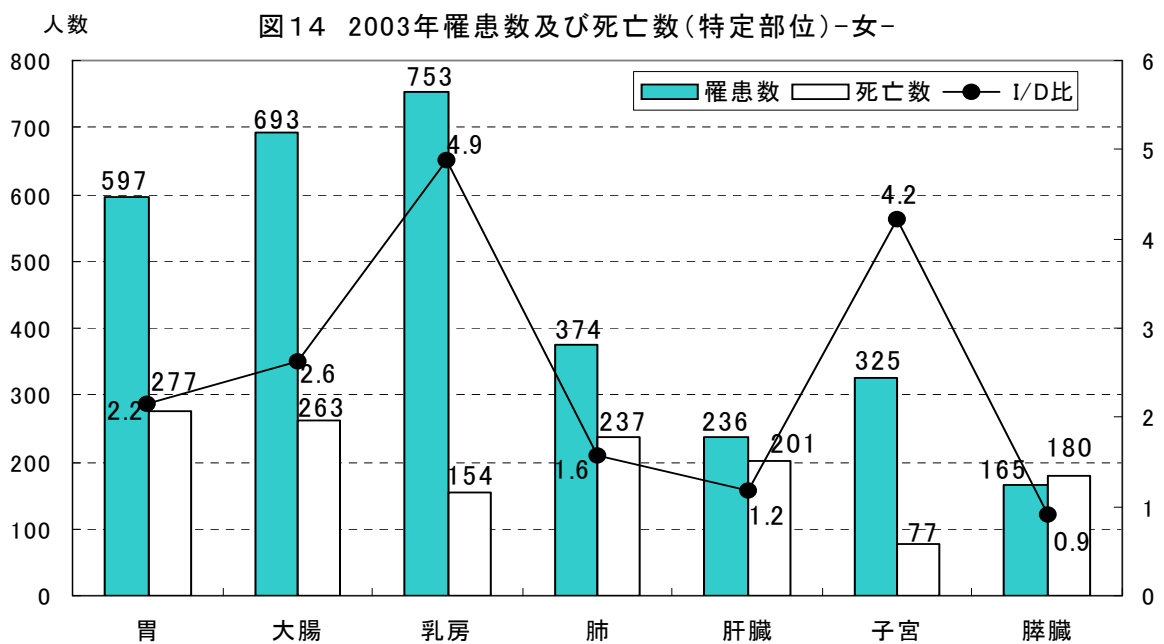
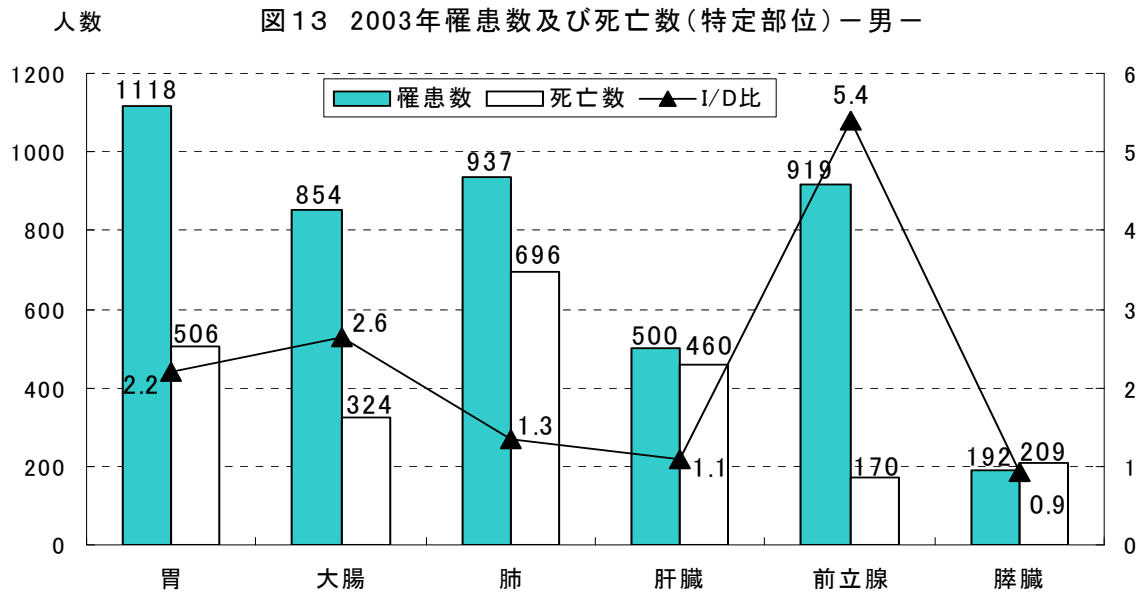
皮膚(\*3): 皮膚の黒色腫を含む

年齢調整率(\*1): 標準人口は1965年日本人モデル人口を用いた。

図 13、14 に 2003 年特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した。

男では、罹患数 2 位の肺が死亡数では 1 位、女では罹患数 3 位の胃が死亡数では、1 位であった。

生存率を反映する I/D 比は、男の前立腺 5.4、女の乳房 4.9、子宮 4.2 が高かった。



### 3. 死亡率の岡山県と全国との比較

表7に、年齢調整死亡率を全国値と対比した。全部位で岡山県の全国に対する比をみると、男で0.99、女で0.92と全国を下回った。

表7. 岡山県と全国との比較 -年齢調整死亡率と年齢調整罹患率(参考)-: 主要部位別、性別 2003年

	年齢調整死亡率 <sup>(*)</sup>						年齢調整罹患率 <sup>(*)</sup>	
	男		女		岡山/全国		岡山/全国	
	岡山	全国	岡山	全国	男	女	男	女
全部位	199.3	201.7	90.4	98.1	0.99	0.92	1.03	1.00
食道	8.8	10.3	0.9	1.3	0.85	0.69	0.73	0.57
胃	31.7	34.5	11.9	13.2	0.92	0.90	0.89	0.92
結腸	13.1	13.8	8.7	9.5	0.95	0.92	0.84	0.94
直腸	7.7	9.0	2.1	4.0	0.85	0.52	0.89	0.93
肝臓	29.6	25.5	7.7	8.1	1.16	0.95	1.03	0.93
胆嚢・胆管	5.8	7.7	4.8	6.0	0.76	0.79	0.75	0.77
膵臓	13.7	12.3	7.6	7.4	1.12	1.03	0.96	0.89
肺	42.1	44.2	8.9	11.1	0.95	0.80	1.05	0.96
乳房	0.2	-	10.6	10.9	-	0.97	-	1.14
子宮	-	-	4.0	5.1	-	0.79	-	0.87
卵巣	-	-	4.1	4.3	-	0.96	-	1.15
前立腺	9.2	8.5	-	-	1.1	-	2.12	-
膀胱	3.4	4.4	1.2	1.0	0.78	1.24	1.26	1.16
悪性リンパ腫	5.4	7.9	4.1	4.0	0.69	1.03	1.07	1.32
白血病	4.7	4.8	2.2	2.8	0.97	0.80	0.99	0.77

年齢調整死亡率<sup>(\*)</sup>: 岡山の値については、表5から転記した。全国値については人口動態統計による。

年齢調整罹患率<sup>(\*)</sup>: 表4から転記した。